

警鐘レポート4 気管切開術後早期のチューブ逸脱・迷入による死亡

事例18

< 事例概要 >

- ・ グランバレー症候群疑い、肺炎、人工呼吸管理中
- ・ 気管切開術後7日目、気管切開チューブ交換の数分後、吸引カテーテル挿入時に抵抗があり、意識レベルが低下。チューブからバグバルブ換気ができず、チューブを再挿入したが、胸部X線で気胸を認め意識レベル低下から約1時間半後に死亡。
- ・ 死因：換気不全。解剖無、Ai有。